

加太小学校だより



2022年
6月8日
No.5



<http://www.kameyama-mie.jp/kblog/kabuto/>

なわとび集会に向けて

子どもたちは、6月22日(水)のなわとび集会に向けて、毎週火曜日の朝に行われる業前なわとびや体育の授業等で、大なわの「ハの字跳び」の練習に励んでいます。最初は、縄に入るのをためらっていた1年生も「自分の力で縄に入ってくぐり抜けたり跳んだりしよう」と、チャレンジする気持ちを見せてくれています。2年生は、1年生のお手本になるように頑張っています。4年生は、連続跳びを、5・6年生は更にスピードアップした連続跳びを目指しています。週に少しずつの練習ですが、「継続は力なり」、日に日に上達してくる子どもたちです。自分たちの目標に向けて練習を積み重ね、なわとび集会ではその成果を十分に発揮してほしいと思います。



今日の振り返りで、上達してきたことを先生に褒めてもらいました。



みんなで今日の目標を確かめ合います。



どれだけ跳べるか、
何度も練習です。



心のかかわりや心の通い合いを大切に



先日、ある教室での出来事です。体育の時間にうまくいかなかったため、落ち込んでしまった子がいました。子どもたちの様子をそっと見ていると、周りの子どもたちは、自然に声をかけ始めました。「うまくいかなかったから、くやしかったんだね。」「その気持ちわかるよ。」「練習したらできるよ。大丈夫だよ。」等と、温かい言葉がたくさん聞こえてきました。しばらくすると、黙って友だちの言葉を聞いていた子は、元気を取り戻してきました。

このような温かな言葉がけができる子どもたち。とても素敵です。学校生活の中では、うれしいこと、楽しいことはもちろんですが、くやしいこと、悲しいこと等、様々なことが起こります。どんな時も互いにわかり合える仲間がいれば、乗り越えられます。これからも心のかかわりや心の通い合いを大切に、学校全体で温かい仲間づくりを進めていきます。

フリー参観が行われます



6月22日(水)にフリー参観を行います。当日は、授業をはじめ、子どもたちの一日の学校生活のすべてを開きます。お子さんのがんばりとともに、休み時間の過ごし方や友だち関係等も観ていただけます。

このフリー参観で、お子さんの様子をご覧いただき、これまでと違うお子さんの成長の証を見つけよう。授業中の発表の様子、聴く態度、座る姿勢、掲示されている作品、係や委員会の仕事をしている様子、友だちへの言葉がけなど、プラスの視点でご参観ください。また、5限目には、「なわとび集会」が行われます。ここでは、みんなで大縄の「ハの字跳び」にチャレンジする子どもたちの姿や異学年児童との関わり方等を観ていただくことができます。きっと、いろいろな場面でお家とは違ったお子さんの素敵などところを見つけたいはず。そして、それを認める言葉をお子さんにかけていただければ幸いです。その言葉でお子さんの自己肯定感が高まっていきます。すると、やる気が出てくるのです。

子どもたちの学びで大切なのは、自己肯定感が高まることです。自己肯定感が高まると自分が好きになり、自分で何でもチャレンジしてみようと主体的な姿が見られるようになり、子どもがいきいきしてきます。是非、このフリー参観をその機会と捉えていただきたいと思います。ご多用と存じますが、是非ご参観ください。

尚、この日は、地域の方々にも学校にお越しいただけるようご案内しています。子どもたちが、多くの方に見守られながら成長しているということを実感するとともに、いつも子どもたちを温かく見守っていただいている地域の方々への感謝を、子どもたちの姿からお伝えてできればと思っています。

マスクの着用について

気温が高くなり、熱中症対策が必要な季節になってきました。国からも「子どものマスク着用について」(別紙参照)のリーフレットが出されています。学校では、亀山市教育委員会から5月9日付で、保護者メール配信された対応をとっており、身体的距離(1mを目安)が十分とれないときは、原則としてマスク着用を基本としています。ただし、熱中症への対応を最優先にすることからもマスクの必要がない場面を以下のようにしています。

<マスク着用の必要がない場面>

- ・体育の時間(運動場、体育館、プール)や休み時間の運動遊びの時
- ・徒歩で登下校している時(但し、人と十分な距離を確保し、会話を控えることが必要)
- ・屋内で人との距離が確保(2m以上を目安)でき、会話をほとんど行わないような時(読書、個人学習など)
- ・屋外で人との距離が確保できる時(鬼ごっこなど)又は、会話をほとんど行わないような時(観察など)

*暑さで息苦しいと感じたときなどには、マスクを外すなど自分自身でも適切に対応できるように指導しています。また、どうしてもマスクを外すことを不安に感じるお子さんについては、体調を見ながらマスクの着用を認めています。ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。